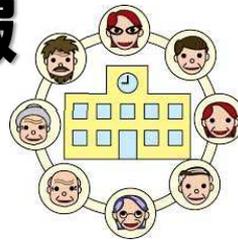


## 厚陽っ子だより



令和3年3月1日(第75号) 厚陽学校支援地域教育協議会

3月になり、進級進学が見えてくる季節になりました。この一年間は、新型コロナウイルス感染症の話題が尽きず、子どもたちとの活動があまりできなかった一年となりました。次年度は、コロナが収束することを祈りながら、また、コロナと付き合いながらもできる支援を改めて考えていく必要があると思います。今年度最後の地域教育協議会が3月11日に行われますが、その中でも改めて支援について考えていこうと思います。

さて、3月27日～4月9日は絵本週間のようです。春休み中に、ぜひ素敵な絵本を見つけて楽しんでみてはどうでしょうか？お友達と読み聞かせをしてみるのも楽しいかもしれませんね。

### (厚陽小)授業支援～のこぎりの使い方～



のこをひく子どもたち

2月4日(木)に厚陽小の4年生を対象に、地域の方が参加してのこぎりの使い方を教えてきました。なかなかのこぎりを使う機会が少ないのか、初めて使うのこぎりに苦戦しながらも、地域の方に見守られ、うまく作り上げることができました。

感謝の会に関連して、授業での様子やメッセージが現在公民館に展示してありますのでそちらも見に来ていただければ、授業中の子どもたちの様子もわかるのではないかと思います♪

### いも畑～整備のようす～

2月12日(金)に地域の方が学校の駐車場横の畑を整備しました。この畑は、小学校・保育園・あそび隊などで利用する畑で、秋にはサツマイモの収穫を行う場所になります。その畑の石を拾って、耕耘して、マルチをひく。実際やってみると大変な仕事です。

また、この日はサツマイモ用に整備した場所とは別に、ジャガイモも植えたので、そちらの収穫も楽しみですね。

地域の方の協力があって子どもたちはたくさんを経験することができます。どうぞこれからもよろしくお願いいたします。



いも畑にマルチを引いていくようす

<裏面へ続きます>

## 放課後子ども教室(厚陽あそび隊)



### 各国の文化について学ぶようす

今年度最後のあそび隊の報告になりますが、2月10日にお琴の練習をして、2月24日にサビエル高校の留学生と国際交流を行いました。お琴の練習では初めてお琴をひく子もいて、苦戦していましたが、最後にはみんなで一緒にさくらをひくことができました。

また、留学生との交流では、それぞれの国の文化について、写真を見ながら学びました。日本からの距離の遠さにも驚きながら、衣食住の違いについても触れ、特に食文化(どんな料理を食べているか)については子どもたちの反応も良かった気がしますね♪料理の写真をみると子どもたちから「おいしそう!」と、声が上がっていました。

さて、各国の文化に触れた後は前回練習したお琴と一緒にひきました。子どもたちは留学生とすっかり仲良くなったようすでした。



留学生と記念撮影

今年度の活動はこれにて終了となりますが、活動は次年度も続いていきます。安全管理員として子どもたちの活動を見守ることに興味を持たれた方がいらっしゃいましたら厚陽公民館まで連絡をお願いいたします。



一緒にお琴を演奏したよ♪

## 家庭教育支援チーム「子育て応援ひろば」

前月号でも紹介した「子育て応援ひろば」ですが、今月は小学校の入学説明会や中学校の進学説明会にて、新しく学校に入学・進学するお子さんがいる世帯の保護者に対しての気になることや不安などを解消するためのお悩み相談にのりました。

小学校の入学説明会では、はじめはお互いに緊張があり、なかなか悩みが出てこなかったのですが、緊張が解けると「子どもを何時に寝かしつけているか」、「朝はどうやって起こしているか」や「雨の日は合羽を使うか」といった話に始まり、「急遽迎えが必要になったときの対応」まで様々な質問がでました。それぞれの家庭でどのように対応しているかを聞きながら、どうするのがいいのかをみなさんと一緒に考えました。



厚陽小入学説明会でのようす

学校支援をはじめ、各種活動にご協力いただける方を募集しています。

できる時にできる範囲で構いません。お気軽に事務局までご相談ください♪



【厚陽学校支援地域教育協議会事務局(厚陽公民館)】Tel 74-8400 FAX: 75-0628